

# 第77回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成24年2月23日（木）午後5時から

場所：杉谷キャンパス 医学部研究棟4階 104講義室

講師：山本政儀 先生（金沢大学環日本海域環境研究センター教授）

演題：「福島第一原発による環境放射能汚染と被曝問題」

## 内容

放射能・放射線については、もともと宇宙には元素誕生以来存在しながら、人間の目にも見えず五感にも感じないため、19世紀末になってやっと発見され、また原子力発電の基本となるウラン(U-235)の核分裂現象は1939年に発見された。過去を振り返ると、核兵器としての原爆(広島、長崎原爆(1945)、ビキニ原爆被災(1954))、時代は進み今度は核の平和利用(アメリカでのスリーマイル島原発事故(1979)、世界を震撼させた旧ソ連のチェルノブイリ原発事故(1986))などで幾多の悲惨な核被災を経験してきた。そして、チェルノブイリ事故から25年後、今度は巨大地震と大津波で被災した東京電力・福島第一原子力発電所の事故によって大量の放射能が環境に放出され、震災と放射能災害が複合・増幅し合う人類未体験の破局的災害が発生した。講演では、放射能・放射線、原子力発電、今回の事故による環境への放射能放出と放射能汚染、それによる被曝問題などについてお話しします。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またセンター放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

## ◎問い合わせ先

庄司美樹（生命科学先端研究センター准教授）

電話：076-434-7190

メール：shojim@cts.u-toyama.ac.jp